



剣友

2025年(令和7年)7月号

東海地区クラブ会長 渡並 直

IGKC ホームページ www.npo-igkc.or.jp

幹事長：酒井武信



1. 7月例会報告 (地区幹事：山下 智)

開催日時・場所：7月19日(土) 13:30~16:30、於／蒲郡市体育センター剣道場 蒲郡市緑町3-69

渡並会長：冷房が利いてありがたい道場です。しかし、各自のペースで稽古をして下さい。

- 1) 七段昇段祝いとして、大島康広先生へお祝いをお渡しした。
- 2) 技の講習：渡並先生より座学を実施。「勝って打つ」とはどういうことなのか。竹刀稽古の中で身に着ける方法は、を中心に講習を行った。

○以下の事例はいずれも、相手に「勝って打たれた」事例である。

- ・私はかつてご高名な先生方へ稽古をお願いしたときに、攻めたつもりで自分から打って出ると、その前に打たれてしまった。
- ・相手の攻めに対してどうすることもできずにそのまま正面を打たれてしまった。

○「勝って打つ」を身に着けるための第一段階として、剣先を取る攻防により「先々の先」の打ちを行うためには、

- ・触刃の間合い(先皮の横が接する位置)から交刃の間合い(先皮の元が交差する位置)で、表の中心を取る。逆に取られたら、裏から中心を取る。
- ・そこから、間合いを詰めて、一足一刀の間合いに入るまでの間に、相手の起こり(剣先が動き始める)を察知(誘発)し出頭を打つ。

- 3) 素振りの基本：山田先生より、素振りは一挙動で振ること。相手のあごまで振り下ろすこと。体の移動は、前進の時は後ろにある左足で押すこと、後退は前にある右足で押すこと。

- 4) 申合せ稽古：竹刀により打ち太刀役と仕太刀役として、「先々の先」を意識して、面打ち小手打ちの申し合わせ稽古を、3回実施した。しかし、まだお互いの息が合わないこと、勝っていないのに打ちに出してしまうこと、相手の振りより早く一挙動で打つこと等、すぐには動作ができないので、今後も継続して申し合わせ稽古が必要なようである。

5)指導稽古、相互稽古：約 30 分間実施した。

6)稽古後のご指導

渡並先生：本日講習したように間合いが大切である。自分に近く相手には遠い間合いと言われているように、自分が打てる優位となる間合いをつかんで欲しい。

桜井先生：剣道の上達にはまず素振りが大切です。正しい素振りを繰り返すことにより手の内が良くなります。

山田先生：大切なことの一つ目は、稽古や素振りにおいて腰から始動すること。二つ目は先々の先を行うには、左足を継がないで左足に荷重をかけた状態で攻めることにより、いつでも打てる状態を作ることです。

都地先生：集中力、気力、脱力、中心攻め、間合い、呼吸（鼻で息する）が大切です。

高籙先生：「勝って打つ」は難しい課題です。なかなかできないが、稽古の中で「勝ったと思って打つ」という気位を持つように心がけています。

7)7月例会参加者（順不同・敬称略）

講師：範士八段/渡並 直、教士八段/桜井鋭治、都地 学、山田久夫、高籙豊樹（5名）

会員：青木三男、石田優美、稲吉道雄、井上一久、生方 篤、大島靖広、小田瑞恵、影山雄三、片桐詩乃、桂 元保、兼川洋一、久世 誠、小島克枝、酒井武信、佐藤千早、白井雅子、高橋 至、彦坂洋一、平野晴義、深谷 修、藤坂彰一、松田麻希子、松本耕志、村井安輔、山口照義、山下 智、與儀美江子(26名)

ゲスト：稲吉先生、夏井先生、西谷先生、荻野先生、金沢先生、河田先生(6名) 総勢 37名

2. 8月の予定

1)全国例会集計 大会参加 26名、個人戦 22名、団体戦 4チーム(20名)、賛助金名刺交換 40名

全国例会日程 10月24日～26日、場所：東京都目黒区立中央体育館

2)例会 日時：**8月24日(日)13:30～16:30、三好総合運動公園剣道場、みよし市三好町池ノ原1**

日・場所が変わりました Tel 0561-34-3131

予定の内容：形稽古、相互稽古、指導稽古（木刀を持参ください）





以上